



介護保険指定事業所

No.84 (2022. 12 発行)

発行責任者 NPO 法人水度坂友愛ホーム
松野 伸哉

友愛だより

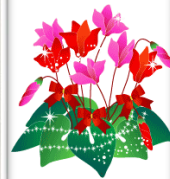
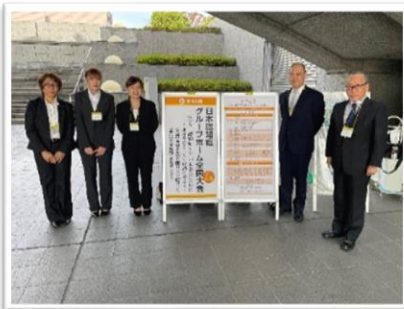
〒610-0121

京都府城陽市寺田水度坂 119-30

日本認知症グループホーム全国大会に参加して

この度、10月26日・27日の両日に三重県津市で開催されました日本グループホームの全国大会に参加させて頂きました。この大会は全国各地からグループホームの経営者や施設の管理者並びにスタッフが集い1日目は、厚生労働省の方による基調講演、田村元厚生労働大臣の特別公演、大阪大学大学院教授の池田先生による教育公演に始まり2日目は分科会に分かれて認知症ケアやグループホームの未来をあらゆる角度から共に語りあい、考え意見交換する大変貴重な場であり、直近の問題としては新型コロナウイルス感染拡大のなかどのような工夫を凝らしケアに取り組んでいるのかという事などを聞かせて頂きました。

水度坂友愛ホームからも施設の代表として4人の職員と私とで参加させて頂きました。うち、2名はホーム内での実例をもとに「コロナ過での家族との関わり」というテーマを掲げて発表をさせて頂きました。全国各施設の発表はどれも大変興味深い内容であったのですが、私が一番感銘したのは、みんな個性はあれ、認知症ケアに取り組む姿勢はみんな情熱を持ち、努力を惜しまず創意工夫しチャレンジしている事にありました。この度の経験は私自身も大変参考になり、同じく参加した職員におきましても今後のケアに大きな影響を与えるものであったのではないかと思います。今後ともこの様な大会を通じて、より心あるケアの実践を目指して参りたいと存じます。(理事長 松野 伸哉)



三重県で行われたグループホーム大会に参加させて頂きました。今回私は、コロナ禍における家族との絆をテーマにグループホームに入所されている106歳の方の事を発表させて頂きました。コロナで面会を制限し、少し元気がなくなり食事の摂られる量も減りましたが、家族様にもご協力頂き、好きな食べ物を持って来て頂いたり、面会の回数を増やして頂くとしげんきになりました。改めて家族様のパワーはすごいなと感激しました。また、全国各地から色々なグループホームの方が参加され、発表を聞いてとても勉強になりました。学んだ事をこれからも活かしていきたいと思えます。

(GH ゆうあい寺田 田村 美沙)



グループホーム大会に参加して様々な研究発表を聞いたり、スタッフの方々と話をしただけで、友愛ホームとして利用者様や地域の方に還元する事があると感じました。グループホームの職員田村の研究発表では、初めての発表とは思えないくらいわかりやすく、とても聞きやすい発表でした。グループホーム大会で学んできた事を友愛ホームでできる事をしていきたいと思えます。(寺田センター長 寺岡 洋和)



10/26~27日、三重県津市で開催された第23回グループホーム全国大会に参加させて頂きました。専門家の方からの講演を拝聴し、また各施設での取り組み、地域や行政との連携等、どれもこれも大変興味深いものばかりで大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。この研修で学んだことを現場のスタッフとも相談しながら活かしていければと思います。ありがとうございました。

(DS 友愛 管理者 山岡 敦美)

グループホーム大会に同行させて頂きました。利用者様にとって安心、安全な暮らしとは何か、また、その人らしさを支える支援を行うにはどのような考えや工夫がなされているのかを全国各地の施設で行われている様々な取り組みを通して学ぶことができました。この学びを今後のケアに活かせるよう、これからも頑張っていきたいと思えます。

(ゆうあいの家 森 香澄)